

ファシリテーション講座 発展編

NANAOHIGH SCHOOL
七尾高校 1年生
普通科文系フロンティアコース・理数科

R6.11.14

はじめに

令和6年11月14日に、8月に行った基礎編に続き、ファシリテーション講座発展編を受けました。話し合いの”場”をデザインするために効果的なテクニックについて、演習を通して学びました。

具体的な話し合いの場面を想定しながら「思考を促す質問」「分けると判る」ワークを行いました。



株式会社シェヘラザード
坂本祐央子先生

講師紹介

株式会社シェヘラザード代表の坂本祐央子（さかもとゆみこ）は、石川県の外郭団体での勤務経験を経て、ソフトバンクモバイルで法人営業として活躍し、「聴く」コーチングスキルを活用した提案で実績を上げました。2012年に株式会社シェヘラザードを設立し、銀座コーチングスクール八重洲校・仙台校代表としても活動し、金沢校では講師として400名以上の受講生を指導してきました。

株式会社シェヘラザードホームページより抜粋

内容

基本スキルの振り返り

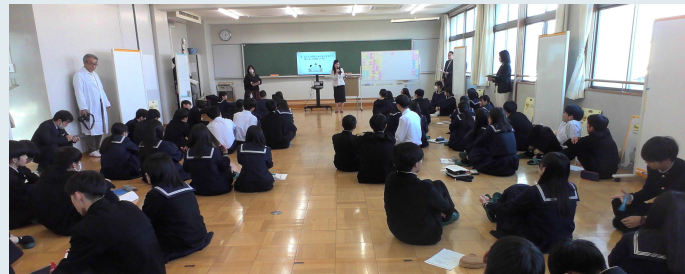
ファシリテーションスキルを振り返りから始めます。深い質問をするための言葉「というと？」を互いに生徒は言い合っていました。

思考を促す質問

質問されている人だけでなく、周りにも「つい」思考してしまう！会議中の参加者を考えさせるために、質問はとても大切な道具です。答えにくい質問とはなにか、答えやすい質問とはなにかを考えました。

分けると判るのフレームワーク

「考え方、意思決定、分析、問題解決、戦略立案などの枠組みのことで課題をわかりやすく分解したり、細分化し構造化することで見てわかる、思考を集中させることができる」（当日ワークシートより）実際に授業で活用できる事例を使いながら、「分けると判る」フレームワークの練習を行いました。



感想

会議や授業での話し合い活動で、使えるスキルを学ぶことができました。話し合いの途中で、話が途切れず続けられる技術をこれから活かしたいと思います。

話し合いではたくさんの意見が出て、付箋に書き込みました。



教室でテスト勉強をしている中に突然感想を求められたのに
早くコメントしてくれている生徒